

こころ

牛久第一中学校
令和5年7月3日
文責 校長 本橋和久

校外で社会とのつながりを学ぶ～2年生・林業体験 in 県民の森！



6月6日(火)・7日(水)に2年生が2回に分かれて那珂市にある県民の森で森林体験をしました。第2学年は社会とのつながりを学ぶ学年行事をいくつか計画していて、今回はその中のひとつでした。午前中はグループごとに森の相談員さんに案内されて園内の樹木を観察しました。柏の葉を見て「かしわ餅の葉っぱだ!」、羽根つきの羽根に付いているムクロジの実を触って「かた～い。」など、相談員さんの説明をよく聴いてさわやかに反応していました。樹木観察の後、各自が持参したお弁当を仲間たちと一緒に楽しく食べ、午後はいよいよヒノキ材を自分で切ってみるコースターづくりです。グループのメンバーが交代で押さえる役になり、友達の鋸挽きを助ける姿は微笑ましく、生徒たちの純粋さが垣間見られるひとときでした。今回の学習を通して、職業としての林業のイメージをもち、AI時代の職業のあり方などについて考える契機になったことと思います。学校を飛び出したからこそ社会と自分とのつながりを考えるチャンスとなりました。友達の新たな面もたくさん発見しました。



生き方や命を考える「思春期講演会」～6月9日(金)・2年生



龍ヶ崎済生会病院の産婦人科医・陳央仁先生を招き、思春期講演会を開催しました。陳先生は私たちにひとつの命が誕生するまでの奇跡的なドラマをお話してくださいました。特に出産は「母親と胎児が命を懸ける営み」というところではっとさせられました。だからこそ、どの命もかけがえのないもの。産んでくれた親、育ててくれた家族や周囲の人たちへの感謝やリスペクトはここに源流があるのだと思います。思春期は心身共に大きく成長する時期です。当然心が揺れ動くこともあります。そのような時こそ、今回学んだ命の誕生のドラマを思い起こしたいものです。当日の運営にご協力いただいた第2学年の保護者の皆様に感謝いたします。



これまでの授業づくりと学び方を振り返る～6月22日・校内研修

令和5年度が始まって3か月になろうとしています。今年度もこの時期に校外から講師を招いて、校内研修を行いました。ねらいは、私たち教師の授業づくり(課題設定、資料の準備、全体のデザイン、学びの環境整備など)がどうであるか、生徒たちの学び方(課題や教材との対話、仲間との対話によるつまずきの解消や学びの深化、自己との対話による知のネットワークの再構築など)を点検して、7月以降の学びの質をさらに高めていくことです。今回の講師は東京大学名誉教授の佐藤学先生です。佐藤先生には午前中に1・2年の全学級を、午後には2年2組の国語「平家物語」を見ていただきました。佐藤先生からの主なコメントは以下のとおりです。

◇午前中の授業から

- ・グループで学ぶ生徒たちが支援を要するタイミングを見極めること
- ・共有課題(教科書レベル)は丁寧に、ジャンプ課題(教科書を超越する課題)は大胆に
- ・生徒にとって「意外性」のある課題を
- ・ワークシートの活用で学びの見通しをもたせ、学びの作業化・学びの可視化を

◇焦点授業 2年2組 国語 「平家物語・敦盛の最期」(渡部由紀枝先生)から

- ・平家物語の中でも「敦盛」を取り上げたところが素晴らしい。
- ・文学教材の場合、課題は作品の中にある。「ここがいいな」と思うところを交流してもよい。
- ・古典ということもあり、音読をもっと多くして直接古文に触れさせてもよい。
- ・今後もテキストの力、生徒たちの力を信じて、文学の素晴らしさに触れさせてほしい。



当日は、東京都大島町立第一中学校、埼玉県川口市立北中学校、福島県平田村立ひらた清風中学校、高萩市立松岡中学校、常総学院中学校の先生方、牛久市教育委員会や学校運営協議会の皆様、市内小・中・義務教育学校の先生方など多くの方々に研究協議にも参加していただき、本校の授業づくりに対するご意見・ご感想をいただきました。これからも生徒たちが安心して夢中になって学べる授業づくりを探究していきます。講師の佐藤学先生、来校された皆様に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

令和5年度生徒会スローガン
Imagination and Respect
～進化し続ける未来～